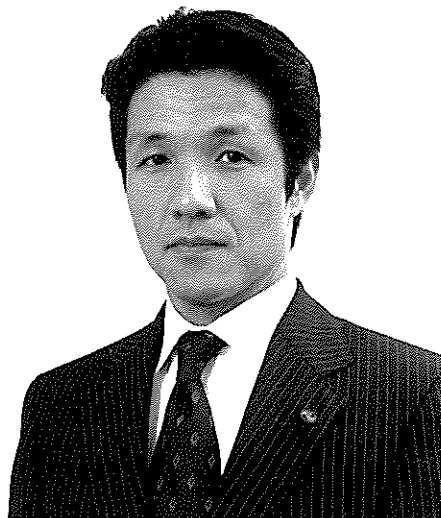


# 新年のご挨拶



取締役社長 瀧澤 利一

明けましておめでとうございます。

読者の皆様には日頃より本紙をご愛読いただき、厚く御礼申し上げます。

長期化する景気低迷に加え、中東情勢の不透明な行方など私共を取り巻く経済環境は誠に混沌としております。そのような状況下で、新年の幕開けを迎えましたが、2003年はバルカーグループの新たな発展の年にしたいと考えております。

昨年、弊社の中国事業展開をスピーディに推進するため、中国拠点を主軸に日本、東南アジアでの生産を再々配置するため、『中国事業部』を4月に設置し、現在のバルカー上海貿易有限公司と2ヵ所の生産拠点(上海バルカー、バルカーシール上海)を管下に置きました。

また9月には、ふっ素樹脂事業の体制強化とCSの向上を目的とし、製品・市場の情報管理、製品開発や技術サポート、生産部門に対する技術・品質指導などを行う『ふっ素樹脂センター(略称：FSC=フッ素ポリマー・ストラテジー・センター)』を新設しました。

そして10月には奈良工場、新城工場を分社化し、新生産会社『株式会社バルカーシールソリューションズ』を設立しました。

長期ビジョン「BEGIN∞2010プラン」では、バルカーグループを「創造型地球企業」と位置づけて“新たな価値の創造に挑戦する企業”“地球環境および社会との調和を尊重する企業”を目指しておりますが、その早期実現のため、中期経営計画NV・S I (New Valqua Stage One) では、事業構造改革・財務体質改善を図り、環境変化に即応できる柔軟な企業体質造りに積極的に取り組んで参りました。そして今年、次なるステップのNV-S 2へバトンを渡し、ビジョンの具現化を更に推し進めて参ります。

新しい年を迎え、バルカーはグループ全体としてのレベルアップに向け、熱い情熱と高い志を持ってあらゆる課題、難題に積極的に取り組んで参る所存で有ります。

本紙ではバルカーの優れた技術、新しい技術を分かり易く紹介し、更にお客様へのソリューション提供に努めていきたいと考えております。

最後になりましたが、豊かな新世紀社会の実現と、皆様方のご発展、ご活躍を祈念致しまして新年のご挨拶とさせていただきます。

